

## 奈良マラソン開幕

第10回の記念大会となる奈良マラソン2019が令和元年12月7日ならでんフィールド(奈良市)で開幕した。

この日は開会式に続いて3kmジョギングがスタート。併せて8日実施するマラソンと10kmランナー受付を行った。両日合わせて約19,000人のランナーが参加する。

開会式は午前11時30分から、会場エキスポエリア内のイベントステージで行われ、大会会長の荒井正吾奈良県知事は大会を支える多くの人たちに感謝し、「マラソンを楽しみ、会場のイベントを楽しみ、多くの出会いを楽しんでください」と呼びかけた。大会副会長の仲川元庸奈良市長、並河健天理市長もあいさつした。

続いて、スペシャルゲストのバルセロナ五輪銀メダリスト、有森裕子さんと第10回大会記念ゲストの俳優、加藤雅也さん(奈良市観光特別大使)、奈良マラソン親善大使の松井絵里奈さんが登壇してあいさつ。招待選手の紹介に続き、山口遥さん(AC・KITA)が力強く選手宣誓を行った。

エキスポエリアでは今年も県内のスポーツ用品、全国各地の自慢のグルメなどを販売。受け付けを終えたランナーや応援の家族、友人らでにぎわった。

3kmジョギングは午後2時15分にスタート。約1400人が奈良電力鴻ノ池パーク内の特設コースを駆け抜けた。



## 開会式

開会式はエキスポ内のイベントステージであり、大会会長の荒井正吾奈良県知事は「どうぞマラソンを楽しみ、会場のイベントを楽しみ、多くの人と会えることを楽しんで2日間を過ごしてください」とあいさつした。

大会副会長の仲川元庸奈良市長は「奈良らしい人や自然との距離の近さを感じ、素晴らしい思い出にしていだきたい」、並河健天理市長は「折り返し点の天理市に向かう道は日本で一番古い道。沿道では市民の皆さんと一体となってお待ちしています」と歓迎の言葉を述べた。

続いてスペシャルゲストで五輪メダリストの有森裕子さんや10回大会記念ゲストで俳優の加藤雅也さん、10kmゲストランナーでタレントの松井絵里奈さんが登場。有森さんは「10回大会を迎えて感無量。私も応援で頑張りたい」と参加ランナーにエール。加藤さんは「奈良出身なのに奈良マラソンを知らなかった」と語り、会場の笑いを誘った。

松井さんは「体調に気を付けながら頑張りましょう」と呼びかけた。

開会式後には第10回大会を記念した「奈良マラソン短歌コンテスト」の表彰式が行われた。



## EXPO会場オープン

7日開幕した「奈良マラソン2019」の主会場の奈良電力鴻ノ池パークでは、すべての人が楽しめる「奈良マラソン2019 エキスポ」を併催。グルメや特産品、スポーツ用品の販売など約90団体のブースが並び、多くの人でにぎわった。

会場では県内の市町村が地元食材を使った料理や特産品を販売。奈良マラソン限定グッズや協賛企業の紹介ブースもあった。

エキスポ会場で食事をしていた辻内源英さん(73)=奈良市、源太郎さん(43)=兵庫県芦屋市、悠太郎君(7)=同=は親子3代で3kmジョギングに挑戦。源英さんの夢がかなった形で「一緒に走れてうれしい」と笑顔を見せた。悠太郎くんも「走るのが楽しみ」と本番に向けて力を蓄えていた。



## 選手宣誓

開会式では、男女の招待選手の紹介に続いて、昨年の第9回大会フルマラソンで女子総合優勝を果たした山口遥さん(32)が昨年に続き選手宣誓した。

山口さんが「奈良ならではのコースを令和の時代も走るシカありません。第10回の記念大会を自分にとって記念に残る最高の笑顔でフィニッシュすることを誓います」と笑顔で宣誓すると会場から大きな拍手が沸き起こった。



## ヨシケイ・ナラ

奈良市七条東町のヨシケイ・ナラ奈良営業所では7日、従業員らが翌日のマラソンと10kmの給水所などに置く物資の積み込み作業に追われた。

スポーツ飲料やバナナなどを4トントラック3台と軽トラック16台に積載。8日早朝から、給水所・関門計34カ所に届ける。

同営業所主任の宇多内衣(ちかえ)さんは「皆さんが楽しみながら走れるように、お手伝いしたい」



## EXPO会場オープン

飲食や物販、協賛企業など約90団体が出店するエキスポ会場は最終日の8日も多くの人でにぎわい、県内の郷土食や全国各地のグルメなどが食べられるブースには長蛇の列ができた。

記念撮影スポットでは完走証を手にしたランナーや、親子連れらがせんとくんと並んでスマートフォンに収まる姿も見られた。



## ふれあいステージ

マラソンと10km種目の各表彰式後には「ランナーふれあいステージ」が行われ、お笑いグループ「安田大サーカス」の団長安田さんと走り終えたランナーがトークを繰り広げた。

マラソンのふれあいステージでは、団長安田さんに加え、檀原市出身のタレントで奈良マラソン親善大使の松井絵里奈さん、第10回大会記念ゲストの俳優加藤雅也さんが出演。

三重県四日市市、桑名市を拠点に活動するクラブチーム「ラン・フィート」のメンバーでマラソンを完走した栗脇順子さん、川崎裕之さん、2人の応援に駆け付けた伊藤哲也さんの3人と奈良マラソンについて語った。栗脇さん、川崎さんは「坂がきつかったが、沿道の応援が励みになった」と感想。伊藤さんは「東大寺で鹿と触れ合い、いい1日となった」と奈良を満喫した様子だった。

奈良市出身の加藤さんは「この後は奈良で食べて飲んでから三重に帰ってくださいね」とアピールしていた。



## 天理市商工会

天理市の真南通折り返し地点では、大会名物のぜんざいが振舞われた。天理市商工会(藤山和徳会長)会員や市職員の約70人が約7000食を用意し、「お疲れ様」「頑張って」と声をかけてぜんざいを手に取るランナーをもてなした。

藤山会長は「温かいぜんざいを食べて、頑張ってから後半に臨んでほしい」と話した。



## ゲストランナー

ソウル五輪女子マラソンの金メダリストでポルトガル出身のロザ・モタさん(61)が、来日に合わせて初めて10kmに出場。ゴール後はランナーとの触れ合いを楽しんだ。

ロザ・モタさんはマラソンの号砲台にも登壇し、「今回、奈良に来られたことをうれしく思う。10周年おめでとうございます。頑張ってください」と選手らにエールを送った。

この後、10kmにゲストランナーとして出場し、38分06秒でゴール。「とても美しいコースで応援もよかった。シカもフレンドリーで楽しく走れた」と笑顔を見せていた。

